

いしかわみらい共創会議

**市長町長と語る
いしかわみらいサミット**
in 津幡文化会館 (シグナス)



2007年9月17日(月)
13時30分～



目 次

1. 目次	P1
2. はじめに	P2
3. 議長挨拶	P2
4. まちへの思いといしかわみらい共創会議へ一言	
・油野 和一郎 かほく市長	P3
・村 隆一 津幡町長	P3
・八十出 泰成 内灘町長	P4
・山出 保 金沢市長	P4
5. いしかわみらい共創会議趣旨	P5
6. いしかわみらい共創会議これまでの流れ	P6-P7
7. 市長町長と語るいしかわみらいサミット	P8-P13
8. サミット後アンケート報告	P14-P15
9. 編集後記	P15



はじめに

今回、「市長町長と語るいしかわみらいサミット」を行う経緯となったのは、設立4年目を迎えた「いしかわみらい共創会議」の中で、今年の事業について議題があがりました。また、地方分権、人口減少などこの地域のみならず日本全体が経済成長にブレーキがかけられている中、これを克服する手段は何かとの問いに各地域の魅力や連携の必要性などが挙げられました。では、メンバーや地域住民はそれを認識しているでしょうか？その中で、各市町長の地域の自立・地域の連携についての意見を聞きたいと共に、今からの地域社会に不可欠な地域間のさまざまな連携が必要であることを広めていく使命が、我々にはあると感じこの会談を実施する運びとなりました。

自己中心的な物事の考えから、みんなで連携しこの地域を魅力あるものに創造できればと願います。

いしかわみらい共創会議 事務局長
(金沢青年会議所 広域連携推進委員会委員長)
菊 地 勤



議長挨拶

みなさんこんにちは。2007年度いしかわみらい共創会議議長を務めさせていただいております岡本です。本年度は、9月17日津幡町において行われました「市長町長と語るいしかわみらいサミット」の開催に、かほく市、内灘町、津幡町、森本各商工会青年部、(社)金沢青年会議所の多くのメンバーのご協力の下、無事終わることができました。本当にありがとうございました。いしかわみらい共創会議も4年目を迎え、節目の時期と考えステップアップとして今回のサミットを企画いたしました。「いしかわみらい共創会議」と聞くと、何の団体？構成メンバーは？何が目的？とよくきかれます。そんな疑問を解くために、2市2町長をお招きし、我々が考える地域連携を聞いていただき、会場の皆様方に見ていただきたい。そんな夢のような企画ができたらいと、今年はじめにメンバーと話していましたが、本当に実現することができ幸せに思っています。開催までの期間にメンバー間の絆も深まったこともうれしく思います。この小さな絆・輪が、少しずつ大きくなっていけば何年後かにすばらしいことが起きると思います。

今回の開催によって、行政、商工会、青年会議所、地域の皆様、我々がいったいどんな団体なのかということをご理解していただければ幸いです。

いしかわみらい共創会議 議長
岡本 幸造

かほく市

かほく市 市長

油野 和一郎

【所属政党】 無所属

【略 歴】 法政大学卒、七塚町議会議員、
同町長、かほく市長

【趣 味】 ゴルフ



町への思い

本日ここに「いしかわみらいサミット」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。
また、皆様方には日頃からそれぞれのお立場でかほく市政の推進にご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

さて、本格的な地方分権時代を迎え、地方自治体を取り巻く財政環境が一段と厳しさを増す中、「かほく市」が誕生して4年目を迎えておりますが、ここに来てようやく一つのまちとしての一体感が高まり、市として本格的に機能し始めていることを実感しております。

そのような中、かほく市では現在、「豊かな人・自然・文化が織りなす、“活力・魅力・やすらぎ”のあふれるまち かほく」を基本としてまちづくりに取り組んでおります。「豊かな人・自然・文化が織りなす」とは、本市の地場産業である繊維業に例え、まちづくりの貴重な資源、(豊かな人、自然、文化)を織りなし融和・調和させることにより、一体的なまちづくりを推進することであり、また、「活力・魅力・やすらぎ」とは、まちづくりの資源の融和・調和によって広域的な連携・交流を促し、観光や産業の振興、地域の個性の育成、人や自然に優しいまちづくりを目指していくものであります。

かほく市のさらなる発展のためには、まちづくりについて市民の皆様と共に考え、共に創り上げていくことが、何よりも肝要であります。また、魅力あるいしかわ中央圏の創出のためには、産・学・官・民一体となった連携により地域間交流をより一層深めていかなければならないと認識しております。そのためにもいしかわみらい共創会議の今後益々のご発展とご活躍に期待をするものであります。

これからも、いしかわみらい共創会議の皆様方の強い結束と更なる飛躍をご期待申し上げます。とともに、会員皆様方のご健勝とご活躍をご記念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

津幡町

津幡町 町長

村 隆 一

【所属政党】 無所属

【略 歴】 金沢桜丘高校卒、
河北郡広域事務組合理事長

【趣 味】 旅行、スポーツ観戦



町への思い

いしかわみらい共創会議主催の大会が、いしかわ中央圏の活性化と地域連携を目指し、ここ津幡町文化会館「シグナス」で盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

私たちのまち、津幡町は石川県のほぼ中央に位置し、古来より加賀・能登・越中の三国を結ぶ交通の要衝として栄え、歴史と豊かな自然を礎とし、教育・文化が調和したまちづくりを進めています。

本州・広大な面積をもつ「石川県森林公園」の活用、「河北潟干拓」の有効利用や、今年度末に全線併用開始が予想されている津幡北バイパス周辺で、より自由な発想で新たな事業展開ができればと思います研究をしているところでございます。

津幡町の地域特性をしっかりと見据え、「知恵と工夫」により、町の将来像である「過去・現在・未来の美しさ融合つばた」の具現化を目指し「人を活かし、心が安らぐまち」を軸とし、「人にやさしいまち」「活気あふれるまち」「心が潤うまち」「安全で安心なまち」を柱に掲げ現在そして未来に繋がるまちづくりを進めて行きたいと考えております。

内灘町

内灘町 町長

八十出 泰成

【所属政党】 無所属

【略 歴】 津幡高校卒、内灘町議会議員、
石川県議、県議会議長

【趣 味】 スポーツ観戦



町への思い

「市長町長と語るいしかわみらいサミット」の開催に心からのお慶びを申し上げます。また、このサミットの開催に向けて企画と準備にご尽力された「いしかわみらい共創会議」の皆様には深甚なる敬意を表します。

経済のグローバル化や情報化などの知価社会への転換が進む中で、我が国の経済・社会構造も歴史的な転換期に直面しています。なかでも行政システムでは、これまでの中央集権的なシステムから分権的な意思決定システムに変換するための地方分権改革が推し進められています。

しかし、地方分権改革を進める中で、国から地方への財源移転として行われた三位一体の改革では、地方交付税が削減され続け、地方自治体の財政運営は極めて困難な事態に直面しているのです。

とはいえ、少子高齢化が進み、加えて人口減少時代に直面している今、地方自治体は地域の活性化を通じて住民に豊かさと安心を与え、また社会から不安を取り除くための施策を積極的に展開しなければならないのであります。

分権社会では、「自己決定」と「自己責任」が求められ、当然に自律的な地域経営を求められるのでありますが、それを補完するものは「地域連携」であると思います。

内灘町はそうした認識の下に、住民の「暮らしやすさ」を最優先にした地域づくりを積極的に展開して行きたいと思っています。

金沢市

金沢市 市長

山 出 保

【所属政党】 無所属

【略 歴】 金沢大法文卒、金沢市財務部長、
助役、石川県市長会長、全国市長顧問

【趣 味】 読書



町への思い

2市2町の首長が一堂に会する「いしかわみらいサミット」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

さて、山側環状道路の開通により、行政区域を越えて、住民の買い物や通勤・通学などの日常生活圏が拡大し、一体化が進んでいます。

また、東海北陸自動車道が来春全線開通するとともに、北陸新幹線は遅くとも7年後には開業の運びとなりました。

金沢ナンバーでの2市2町連携の成果が示すように、今後さらに、生活圏を一体とする市町が、観光、学術、文化など幅広い分野で連携して協力関係を深め、圏域が全体として発展していくことが肝要であります。

このような中、圏域の未来を担う青年経済人のみなさんが「いしかわみらい共創会議」に集い、共に事業を展開されておられますことを大変頼もしく思いますとともに、心から敬意を表する次第であります。

今後とも、交流の輪をさらに広げながら、圏域の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

いしかわみらい共創会議趣旨

外環状道路の開通を機に、近隣の道路事情が格段に向上する中で、私たちの生活は、かほく市から白山市まで包括した「いしかわ中央圏」に広がっています。今後、東海北陸自動車道・北陸新幹線などの開通やグローバル経済の進展により、金沢港、県内二つの空港の位置付けは高まり、人口や産業の流動性が益々拡大すると予想されます。また、地方交付税などの削減、国から地方への税源移譲と伴に、広域行政が推進され、正に地方の自活が問われています。

我々は、国から地方への権限委譲（地方分権）に備え、いしかわ中央圏の様々な強みや可能性を活かした経済・社会を築き、いしかわ中央圏を真に自立させることが急務であると考えています。

上記を旨とし、2004年、生活圏を共にする次代を担う青年経済人が集まり、「いしかわみらい共創会議」が始動、行政の枠を超え、協働事業を展開してまいりました。いしかわみらい共創会議は、次世代に誇るまちづくりのため、北陸、延いては、日本におけるいしかわ中央圏のあり方を見据え、地域の文化や自然を守り、持続的に発展する「魅力あるいしかわ中央圏の創出」を目指します。

いしかわみらい共創会議これまでの流れ

2003年 「広域生活圏創造活動」

金沢近郊自治体、経済団体との意見交換

2004年 交流

いしかわみらい共創会議設立 花畑VISION地域連携を目指して

互いに隣接する1市2町(金沢市・津幡町・内灘町)において、
地域の青年団体とともに、地域連携の可能性を探求。

地域連携フォーラムの開催

講演:「地域の自律と連携を考える」

講師 森 裕 之(立命館大学助教授)

対談:長野県下伊那地方事務所商工雇用課 課長 吉川 吉雄

立命館大学助教授 森 裕之

コーディネータ:金沢大学 経済学部助教授 碓山 洋 様

構成メンバー

- ・金沢青年会議所
- ・内灘町商工会青年部
- ・津幡町商工会青年部
- ・森本商工会青年部



2005年 協働

いしかわみらい共創会議 浮浮アイランド in 河北潟

構成メンバー

- ・金沢青年会議所
- ・内灘町商工会青年部
- ・津幡町商工会青年部
- ・森本商工会青年部
- ・かほく市商工会青年部



いしかわみらい共創会議これまでの流れ

2006年 深化

- 1.交流から連携へ、垣根を越えた地域づくりー浮島事業ー
- 2.ーパネルディスカッションー

講演:「若者が地域の未来を考え、育てていく！」

講師 宮口とし迪 (早稲田大学 教育学部教授)

パネルディスカッション

テーマ:《魅力あるいしかわ中央圏を目指して》

パネリスト

① かほく市商工会青年部 部長 岡本 幸造

② 津幡町商工会青年部 部長 山崎 英之

③ 内灘町商工会青年部 部長 太田 臣宣

④ 金沢青年会議所 理事長 徳永 健一

コーディネーター クリエイティブ・グルーヴィ 高峰 博保





市長町長と語る いしかわみらいサミット

in 津幡文化ホール(シグナス)

後列左より:菊地事務局長(コーディネータ)、岡本 幸造議長(コーディネータ)、村田森本商工会青年部部長、南 裕一内灘町商工会青年部部長、田上 久晃津幡町商工会青年部部長、塩本 亘かほく商工会青年部部長、八木圭一朗金沢青年会議所理事長
前列左より:八十出泰成内灘町長、村 隆一津幡町長、山出 保金沢市長、油野和一郎かほく市長

岡本議長 皆さんこんにちは。本日は、2市2町の山出市長、油野市長、八十出町長、村町長の4人をお招きし石川中央の未来を考えるいしかわみらいサミットを開催する運びとなりました。本日はよろしくお願いします。

菊地委員長 いしかわみらい共創会議は、かほく市・津幡町・内灘町・森本各商工会青年部と金沢青年会議所の5団体で運営されております。我々が考えているいしかわの中央圏は、北はかほく市、南は白山市で、能登半島の付け根で能登・加賀・富山・福井に繋がる重要なポイントです。この地域で1.少子高齢化等の人口問題、2.2014年の北陸新幹線、3.地方分権が問題になっています。まず人口問題;全国で人口減少し、高齢者が増え子どもが少くないという問題が起きている。2014年に北陸新幹線が開通(図1);北陸新幹線ができると金沢・東京間が2時間22分で結ばれ首都圏での日帰りの仕事が可能になる。ここで問題はストロー現象である。

岡本議長 皆さん外環状道路おかげで各地域に行くのに時間短縮になってかなり便利になったと思います。近々東海北陸道もでき、東海地区にもスムーズに移動できるようになり、その生活圏はますます広がりを見せている(図2)。



菊地委員長 地方分権(図3);国の持っている権限を地方に移し、地方が主体となって物事を決めていきますが、地域のニーズや魅力のない地域づくりでは、財政危機に陥り、人の流失というものになっていく。そのためには地域連携し魅力を作ること、自立した素晴らしいまちづくりができ、持続発展しなければならないと考えます(図4)。

岡本議長 図5は、いしかわみらい共創会議のコンセプトチャートです。いろいろな枠組み・魅力が存在しますが、それぞれがばらばらであるより連携することの相乗効果で、この地域の魅力につながると考えます。その魅力がいしかわ中央圏の魅力に、そして石川県全体の魅力アップに。そして北陸全体の魅力に繋がると考えます。

油野市長 まず、かほく市の魅力を作らなくてはいけない。そしてまた他市町と連携してこの地域

図3

地方分権・三位一体の改革



を発展させるということが大切ではないかと思っています。かほく市は、平成16年3月1日に3つの町が合併し、石川県内では9番目にできた市であります。かほく市が合併したことによって河北郡内に1つの大きな核ができ、津幡町、内灘町と連携しながら、各々の市町がそれぞれ魅力を作ることがお互いの発展に繋がると思います。津幡バイパス・山側外環状ができ、金沢との交通アクセスが大変よくなり、能登の人が金沢の地域に引っ越してくる時に受け皿の1つになったのではないかと思います。またかほく市の3つの町が合併する時に、サービスは高く負担は軽くという基本方針形で合併をさせていただきました。それ故にかほく市の住民サービスは決して低くはなく、石川県の市町の中でも高いレベルにあり、これが かほく市の魅力のひとつとして挙げたい。そのほか、紋平柿、ぶどう、さつまいも、長いも、大根、すいかという6品目の農産物のブランド化をしている。それから津幡、内灘河北郡市内で連携してゴミ処理や斎場などを運営しています。また金沢ともいろんな形で連携させていただきながら、いい意味で競い合い、またお互い協力できるところは協力するという姿勢でこの地域の魅力づくりをしていきたい。

村町長 津幡町は交通網の要所で、1番に交通網という点から2014年に北陸新幹線が入ってきた場合に、3市3町がどのような街づくりをしていくのか。受け入れる姿勢を2014年までに作りあげないと、うまくいかないと思います。もう1つは石川県の交通網の充実であります。外環状線の山側開通によりまして地域の連携がガラッと変わりました。このことから考えると、1つは石川県には

空港が2つあります。2014年には新幹線が入ってまいります。それと金沢港が充実されます。そういう中から私は石川県が全国的に見ても、2014年に十分に日本に世界に対応できる地域であるという風に思っております。今までは点と点で結んでいた時代から私は面で結ぶ時代に入ってきたのではないかと。もう1つやはり能越自動車道、東海北陸自動車道で、中京圏との結びつきが出てまいります。

八十出町長 私も魅力ある街づくり、暮らしやすい地域づくりという意味では、地域連携は今では欠くことのできない課題であると思います。また、住民の皆さんも地域連携の必要性というものを感じていらっしゃると思っています。それは、平成17年度の金沢ナンバーの導入です。それぞれ2市2町でアンケート調査をしたときに、各々70%~80%の人が賛同したことから、町を越えて市を超えて、皆様も境がないことからボーダレスということを感じている今の住民の意識の高さを感じています。また、今年の1月に消防署の指令業務の共同運用ということで調印し、来年4月から本格的に運営をしていきます。今こそこの2市2町が互いに連携しあって地域を高めていくということが非常に大事で、1つのそれに向けて懸命に頑張っておきまして最も身近に感じているのが2014年の新幹線開通への対応であります。もう1つは2008年の3月の東海自動車道の開通です。首都圏も中京圏も大きいので、そこから人を呼んでくるということが地域の活性化だという風に思っております。それぞれに使命を持って、その使命をみんなが共有をし合う。西田哲学記念館、古戦場と北陸道があつて、兼六園と前田家の城下があつてみんなそれぞれに使命を持っていますので、これを共有し分担をしていく。そしたら我々の1つのコンセプトは分担と連携。この4文字で言いたいと思います。金沢ナンバーがまさにその成功事例だと思っています。

菊地委員長 金沢ナンバーは、取得率が全国でも高いレベルであると聞いております。不勉強なので他に行政で取り組んでいるものはありますでしょうか。

油野市長 金沢市とは、金沢ナンバーの導入によって我々河北郡市との連携が深まりました。また、

図4

いしかわ中央圏の魅力創出が、必要な理由

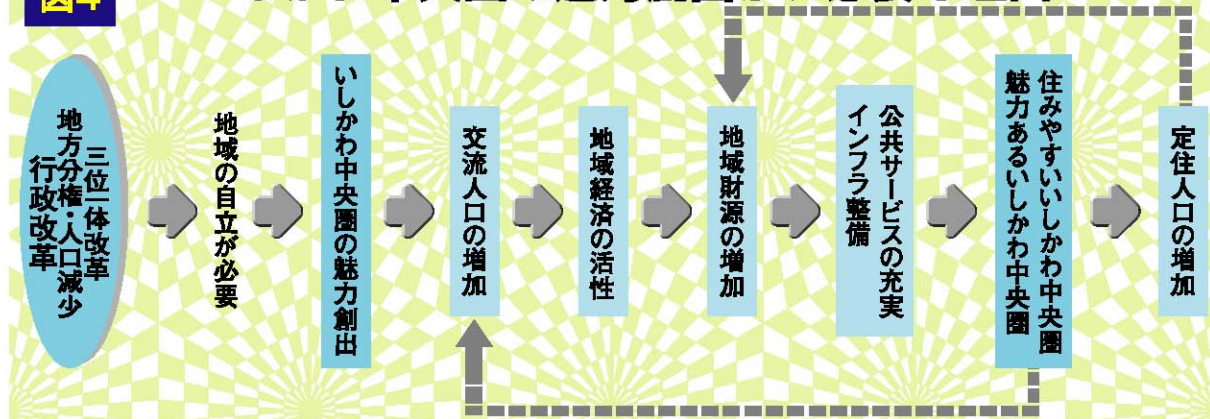
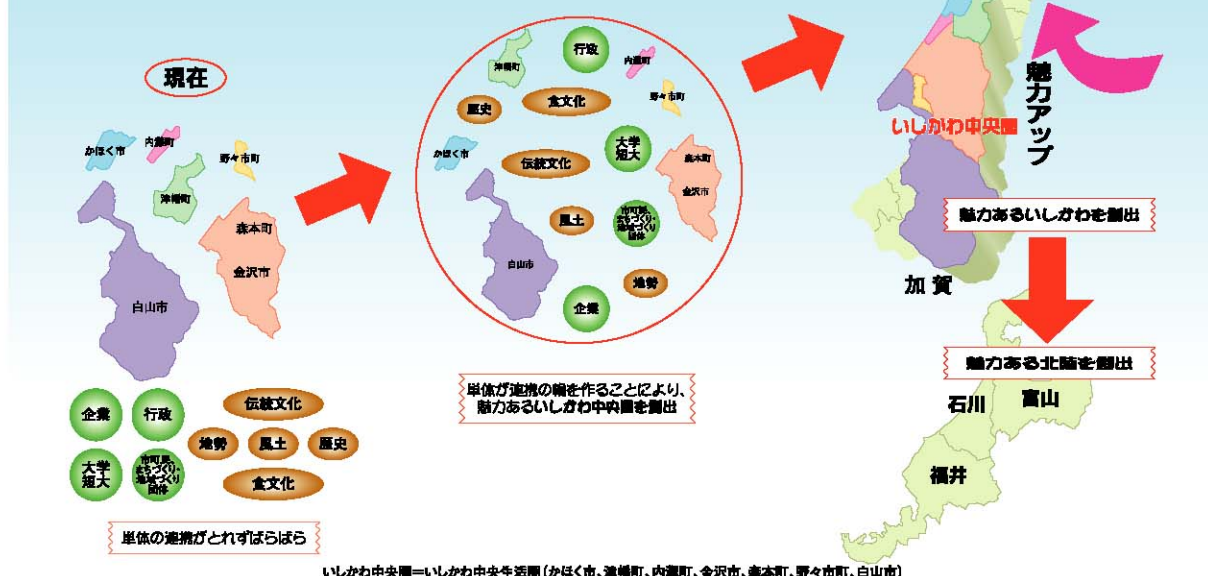


図5

これからの

いしかわ中央圏の魅力創出とは！

地域資源の相互利用による新たな価値の創造へ
首長会談後の未来



河北潟の環境対策期成同盟会、外環状の海側幹線の同盟会等、交通ネットワークを作ろうという同盟会などもあります。先程も地方分権の話も出ましたが、各市町単独では、やれることに限界がありますお互いの経費を削減する意味でも、これからも連携をとらなくてははいけない。

菊地委員長 村町長。津幡バイパスの話をしていましたが、金沢の中心街から小松空港に行く時間と津幡から小松空港に行く時間は、津幡からのほうが早いということはないでしょうか。

村町長 今まで私たちは外環状線がなかった場合は1時間ぐらい前に出ていたが、外環状線ができたので30分でいける。それだけあの1つの道路だけで時間短縮ができる。

菊地委員長 八十出町長、最近サンセットブリッジができ、内灘の整備がだいぶ進んでおりますが、これからかほく市と道が行きやすくなったと思いますが、いかがでしょうか

八十出町長 これまで河北郡市、旧の河北郡と広域行政をやっていました。町として河北郡市だけでなく、隣接する金沢市と連携をとることで、平成17年7月に金沢市との行政連絡会を締結し、その上に災害時の相互応援協定など締結し、昨年と今年とそれぞれ防災・震災の合同訓練を行いました。昨年は金沢で今年は内灘町で多くの住民の皆さんが参加して防災訓練を共にしました。町民と市民がお互いに連携しながら訓練しました。さらに内灘町は4本の井戸を持っているのですが、今災害協定によって金沢市と内灘町がそれぞれ水道管を連結するための工事をやったばかりです。今はそんなことから金沢市との連携は本当にうまくいっておりありがたく感謝しています。この自治体間の相互連携というのは極めて重要になってくるのではないかと思います。

菊地委員長 水道の話はホットな話題ですね。水道管の話では津幡の方からも金沢にも少し供給があるとか、かほく市から津幡への供給があると聞いたことがあるのですがどうでしょうか。

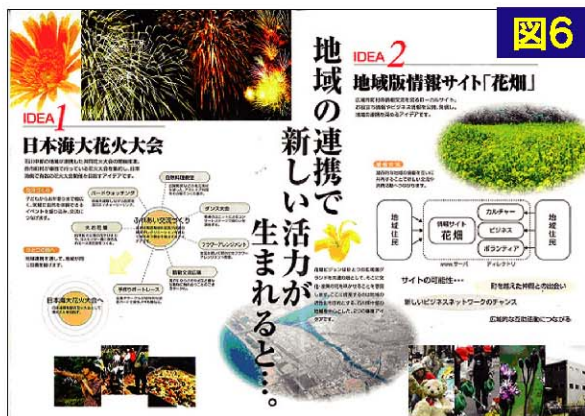
村町長 水道につきましては津幡から金沢市に、かほく市から津幡町の一部に供給していただいております。このほかかほく市、内灘町とは従来から河北郡市の広域事務組合でゴミの処理もやっております。これからは介護や社会福祉全般などの業務がこれから経費削減しなければならぬ時代となり、2市2町で話しながら、どんなことがいいのか考える必要がある。各町では負担ができないことが出てくると思いますので、色んな観点から2市2町が業務を連携しなければならない時代になってきており、この2市2町で考えることが必要です。

菊地委員長 話し変わりますが、教育関係で何か連携といったものはございますでしょうか。

山出市長 今、内灘さんと金沢市との間に英語教育について、先生を派遣し合っており、さらに大きく広がっていいんじゃないかと思っております。もともと教育というのは、小学校や中学校は町が一生懸命やらなくてはならないもので、効率的運用をして共に連携があつていいと私は思っています。

菊地委員長 連携は必要でこれからの時代特に重要になってくると思います。知らず知らず、市や町が連携をとっている事が、今の話でわかりました。そんな中で我々いしかわみらい共創会議が、2004年に設立されました。ここに映っている花畑(図6)というのですが、これは2004年に挙げられたビジョンです。地域連携を目指してこの地域に魅力の花を咲かせ地域づくりをできないかと考えたものです。日本海大花火大会は、花火だ

「地域の自立」と「広域連携」の必要性



けではなく例えば手作りポートレース・動物交流・フラワーアレンジメント・ダンス大会・バードウォッチング、実際にお花畑というものもあります。河北潟干拓地の中に金沢市・内灘町・津幡町・かほく市4つ揃っているところがあります。そういうところで、連携事業として河北潟で日本海大花火大会をやってはどうかと考えられたのが花畑ビジョンです。単なるこれはイベントではなくて、この地域の魅力を集めたイベントにするべきではないかと思っています。

岡本議長 このビジョンは魅力あるいしかわ中央圏創出の手法にしか過ぎませんが、このようなビジョンを起爆剤としてまたこのような絵に(図7)なるような弾みとしてこの地域づくりを行ってはどうかと思っています。

油野市長 皆さんの若い発想の中で色々なことを提案していただいて、その中に行政がいかに協力できるか。若いゆえに多くの夢もあり、その中から実現可能なものを1歩ずつやるのが大切だと思います。これだけ大きな提案になると、山出市長が言われた、いかに、分担と連携ができるかが重要になってくると思います。河北潟はヘラブナ釣りで日本一になれる可能性があると言いました。金沢市・かほく市・内灘町・津幡町各議会も参加の町民レガッタ大会、箱根駅伝よりも回数が多く、日本一の回数を誇る河北潟一周駅伝などを魅力づくりに活かしたら、もっとビジョンを広げることができるのかなと思います。

村町長 河北潟のイベントとしてそのほかにひまわり村というので、知事が名誉村長で私が村長で、かほく市と内灘町さんと金沢市さんの園児が必ず参加される。もうもうフェスタ・農業祭りは、河北潟で取れた生産物を販売し、大変素晴らしいものになっています。

菊地委員長 最近の河北潟は、今までの河北潟とは少しずつ変わってきています。みなさんお帰りの際に、河北潟におより頂くと、だんだん地域づくり街づくりをしていっているのだと実感してもらえそうですし、また葡萄狩りもそろそろこの時期できる時期ですので、是非この帰りにでも行ってもらえたらと思います。

八十出町長 いしかわ中央圏づくりをするとしたら、そのステージが河北潟で、浮島もかなり評

判もよく、河北潟を綺麗にするという意味で大変重要です。さらに金沢市といえば伝統・文化・伝統芸能、津幡町といえば、倶利伽羅古戦場・森林公園。かほく市にしてみれば西田哲学館。私達内灘町は広大な海岸・砂丘ということであり、これらを複合的な大きなイベントを全国的に通ずるようなイベントに繋がっていくのではないかと思います。2市2町といえば色んな隠れたしかもそのまちでしかないものがたくさんあると思います。2市2町連携で金沢ナンバーを成功させる素晴らしい取り組みだったわけですから、必ずいしかわ中央圏の取り組みというのは成功すると思います。

菊地委員長 加賀野菜など食べ物でもこの地域のブランドというものがありますが、こういったものをテーマにやったら面白いと思うのですがどうでしょうか。

山出市長 かほくには葡萄・紋平柿、津幡からはまこも竹、金沢と津幡に金時草、内灘と金沢には薩摩芋があり、これをブランドにして全国に売り出したらいと思います。行政としてのお手伝いは、前に出てくださいるのは住民の方々と、行政はホームページに農産物を載せるなど広報活動します。このようなことを中京圏や首都圏へキャンペーンを展開したら良いと思います。花畑ビジョンは確かに河北潟に視点を置いたことは適していると思います。2市2町におきますと河北潟は素晴らしい財産で、これを使わない手はないと思います。しかし、水質の浄化が必要です。今年の秋には2市2町の小学生が不法投棄のパトロールをしてくださると聞いております。小さなお子さんが真面目な心でボランティアをやっていただけのは大変ありがたいことで、そういう気持ちが大人に移ってそして河北潟が昔のような綺麗な湖になってくれたらと本当に思います。2市2町の若い青年経済人の皆さんが花畑ビジョンという河北潟に視座をおいてくれたことを感謝したいと思います。

岡本議長 かほく市では、花火の業者が2社あります。この業者は中部地区の大会等で賞をもらっており非常にレベルの高い業者ですが、技術レベルは高いのに花火大会自体は全国で有名ではない。河北潟は技術的にも広域的にも、かなり大きい花火大会が可能だと思います。

菊地委員長 この花火大会は広域連携の手法の一つとしてあり、ゴールではありません。しかし、このような大きいイベントなどで県内・外から人が集まればより地域の魅力があがるのではないかと思います。

岡本議長 この地域の形態を問わず色々な人が集まれば良いのかなと思います。実現・成功目指して頑張ろうと思っております。この地域を魅力ある地域にする為に住民全体での地域作りをしなければなりません。自分たち・子供・孫がこの地域が好きであると言えるように今頑張らないといけません。

いしかわみらい共創会議ビジョン



図7

フロアからの質問1 かほく市と内灘町の30歳の男性の質問です。大型ショッピングセンターの進出に伴う各市長・町長のお考えと、これから青年経済人としてどうしていったら良いのか？

油野市長 住民の皆様の満足度が高いというのは、生活の便利さというのが一番にあげられております。かほく市住民アンケートの中で最も欲しいというものが大型ショッピングセンターでありました。県内市の地元購買力の平均値は79%という数字であります。かほく市は37%という低い数字です。これは、かほく市から津幡、金沢へと市外に買い物に行くということです。医療関係も内灘の大学病院や金沢へ行くことになります。能登と比べると近くてよいと思っておりますが、生活の便利さということでかほく市内に大型ショッピングセンターが欲しいということです。今から10年ほど前にリバーシティ構想があり、いまそこに大型ショッピングセンターが出店するわけです。既存の小売店に関しては、商工会、市執行部とも協議をしながら、商品券の活用などの連携を図り、住民サービスの向上に努めて参りたいと考えておりますので、ご理解頂ければと思います。

村町長 大型ショッピングセンターの進出によって人の流れが大きく変わり、周りへの影響も大きい。道路の環境変化、渋滞も起こります。地元の商店街への影響は何処でもあると思います。コスト的には太刀打ちできない。技術的なもの・専門的なもので何とか太刀打ちできないか。どのようにして魅力あるまちづくりをしていくか、これが正解というものがないなく、頭を悩ませているのが現状です。

八十出町長 平成元年に宝塚の再来として新聞にも載ったが、バブルの崩壊と共にやるともやらないとも分からない状態が続き18年経ち、10月宿泊施設、11月商業施設、12月スーパー温泉がオープン予定で、具体的になってきており町民も期待している。しかしどんな開発もそうですが、光があれば必ず影があるといわれますが、既存の商店街・商業の方々が先行き不透明・不安を覚えています。そのような方々とどのように連携していくのかということが、これからの大きな課題と思っております。結果的にはその商業施設に入るのは難しかったのですが、きちんと話を整理し、町にとって両方とも頑張っていることを、私どもは協力し応援していきたいと思っております。

山出市長 私は大型店については、どちらかといえば慎重です。理由はまちの中にある「屋」のつく商店が消えていく、酒屋さん・米屋さん・床屋さん・下駄屋さんと私にとってしのびない。そして中心街が空洞化する。結果としてコミュニティが崩壊する。僕はこのことについて早くから心配をしておりました。国も県も反対でしたが、ここに来てやっと国もコンパクトシティということを言い出しました。大型店の人たちは商売がうまく行かなければ直ぐ去っていきます。去っていった後の始末をどうするのか大変難しい。行政は規制緩和の大きな流れの中でものを言うに限界がある訳ですが、だとしたら青年経済人こそ大型店に対して自己主張をすべきだと私はそう思います。

フロアからの質問2 金沢市30代男性であります。「コマツ」の工場が金沢栗崎地区に進出し、これによる大きな経済効果が期待される。この地域にとっても大きなチャンスと思いますが、各市長・町長はどのような将来ビジョンをお考えか、また我々青年経済人はどのような役割を果たすべきかお話を頂ければと思います。

油野市長 私の地域でもそういった関連の工場が今かほく市に進出してくれるということで、話も決まりました。人口もそう ですが、まずは金沢を中心に広がり、我々のところに波及してくることを期待しております。現在、かほく市には工場用地というものはありませんので、これからは遊休用地をそういったものに出来ないかなと思っております。また、かほく市には、鉄工業関係の人たちも沢山おられ、「コマツ」が金沢港に出てきたことによって、関連企業の業績も良くなってきているというお話も聞きます。そういった状況の中で景気全体が底上げされていると聞いておりますので、大変有難いと思っております。

村町長 コマツの進出によって金沢が発展することだと思えます。ただ、コマツだけでなく金沢港が発展することによって、各企業が地域にでてきてくれることを考えていかなければならないと思えます。コマツを一つの中心として2市2町・3市3町が大きく発展していく、これが大変重要だと思えます。その金沢港が発展することで貨物だけでなく観光客や、中国を考えればトヨタの輸出自動車が距離的に近い金沢港から出て行くように、大きく考えることが必要ではないかと思えます。若い皆様ですから大きく色んなことを考え石川県の企業をどんな形に持っていくのか、海外に向けてどう発展していくかを考えるべきだと思います。

八十出町長 コマツの進出ということで金沢港が国際物流港として、大きく飛躍しようとしているところであります。いろんな企業がこの周辺に来ることを前提に考えた場合に、この2市2町の果たす役割は非常に大きいと思えます。300とか400とかいう関連企業が周辺に住み着くということになりますから、一番近い我々としたらチャンスだと思っております。我々はなんと言っても良好な住宅地が沢山あるものですから、一番近い内灘町から通ってもらいたいと大きく期待しております。

いしかわみらい共創会議ビジョン



山出市長 コマツといえば、世界の企業であります。私はこの立地に市として本当に責任を果たしていかなばならないと思っております。その理由はやはり関連企業に与える影響は大きいということでもあります。分かりやすく言えば、鉄工所は忙しくなる。おりしも金沢能登連絡道路の直線コースの工事がはじまったばかりであります。このことは2市2町の協力・分担が大きいことになってくると思っています。そしてもうひとつ、是非申し上げておきたいのはコマツが来るということは単に産業の面だけでは無いということです。ああいう企業が立地する背景には、医療の問題とか、教育とか文化とか住宅とか生活環境がみんな関わってくるわけですから、単に工場が欲しいから来るわけでは無いということです。そうしますと、2市2町は先ほど言いましたけれども、協力・分担でお互い持ちつ持たれつつ協力をしていかなければいかんと思います。若い経済人に対して期待することは、やはり技術の水準を上げることです。コマツの人たちが私に言われることはこの地域の技術水準が高いといひます。このことに甘んじることなく、絶えず自分の水準を高めて、その時は産学連携を大事にして技術水準を絶えず高めていく努力をし続けることを、とりわけ若い経済人に期待したいと思っております。

岡本議長 我々経済人は技術力アップと共に色々な企業とそれに関連する企業の、新たな人口増加となったときに、地域が活性化し、この地域は良いところやねと言われるよう、もっともっと地域が活性化していくような努力をしていきたいと思ひます。

それではいしかわみらい会議を含め、青年経済人に一言づつお願いします。

油野市長 今日こういった機会を作っていただき、また皆様から色々な提案を頂いたわけですが、とにかくやれることから一歩ずつやっていただければ、いしかわみらい共創会議としてはそれでよいと思ひます。行政と商工会青年部、商工会議所、青年会議所が連携しながらお互い切磋琢磨して、この地域を盛り上げて頂ければ、大変有難いと思ひます。これから中央圏は、石川県で最も元気の出る地域だと思っておりますし、その為には自治体間も連携していくこと、そして皆さんも頑張ってくださいと期待して挨拶とさせていただきます。どうも今日はありがとうございました。

村町長 2市2町の未来はあなたの方の方にかかっていますよということで、政治は生活そのものだと思っております。そういうことで若い経済人の

方々に色々なことに興味をもっていただき、探究心で持って、そして人脈を広げ、やはり自分達がこの2市2町を作っていくんだという意欲で頑張って頂きたいと思ひます。

八十出町長 いつの時代もそうですが、社会変革の中心というのは、いつも年若い青年であるということは今更言うまではありませんが、新しい時代を作るためには、バイタリティに富んだ精神が必要だということです。地域の発展・繁栄はそこに住む人々の考えや動きに左右されるということでもあります。いしかわみらい共創会議という組織として、またひとりの経済人としても、これから地域繁栄の為に大きな働きをして頂きたいことを期待したいと思ひます。今日は本当にありがとうございました。

山出市長 花畑ビジョンは、我々政治に生きるものは、すぐ損得勘定を考えますが、皆様はそういうお立場ではありませんので、まちの為にまちの将来のために、そこに住んでいる市民の暮らしの為に、そういう視点でこれからも発展して欲しいと思ひます。若い経済人として言葉を捧げたいと思ひます。それは「敢為」と言ひます。敢えて為す、挑むということです。挑むときは強い意志が前提で無ければならない。敢為の精神でもってお仕事に頑張ってもらいたい、こういいたいということです。大きいのですが歴史からいきますと河北潟1周駅伝といひますので、是非この帰りにでも行ってもらえたらと思ひます。

閉会挨拶

津幡町商工会議所青年部 田上部長

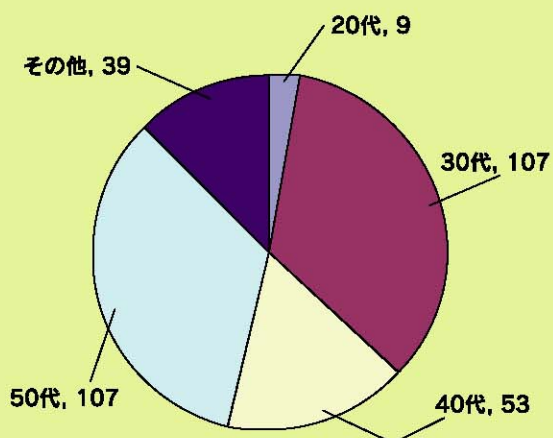
本日は、市長町長と語るいしかわみらいサミットにこんなに多くの方々に参加頂き、本当にありがとうございました。そしてご公務などお忙しい中、お集まり、お話をして頂きました各首長の方々には、心より厚く御礼申し上げます。先ほど首長の皆様からお話がありましたが、これからいしかわの中央に位置する各地域は、それぞれの持続的な地域間連携が必要です。いま私たちはそれをしっかり見据え、各地域の青年経済人が集まり、活動しています。今後私たち内灘町、かほく市、森本町、津幡町商工会議所青年部、金沢青年会議所のメンバーで構成する、このいしかわみらい共創会議が、この地域の行政、学校、企業、市民の皆様と連携し、魅力あるいしかわ中央圏を作り出し、この地域に生まれ、暮らして良かったと誇りに思えるような活動を続けていきたいと思ひます。本日は本当にありがとうございました。



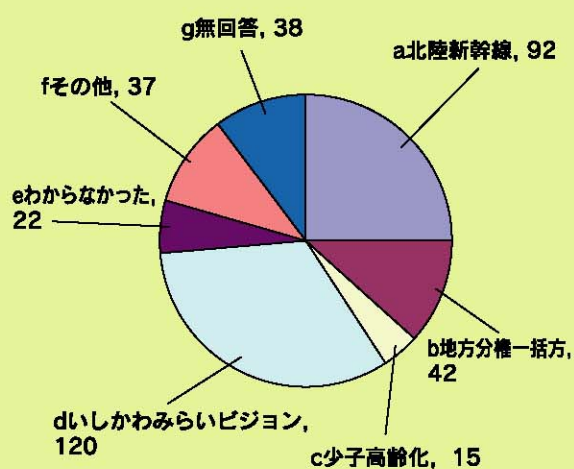


サミット開催後アンケート(回収率:315/533=59.1%)

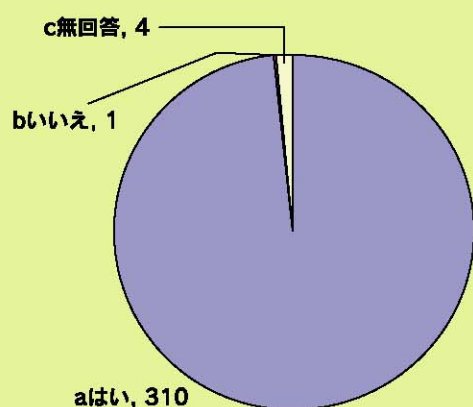
参加者年齢割合



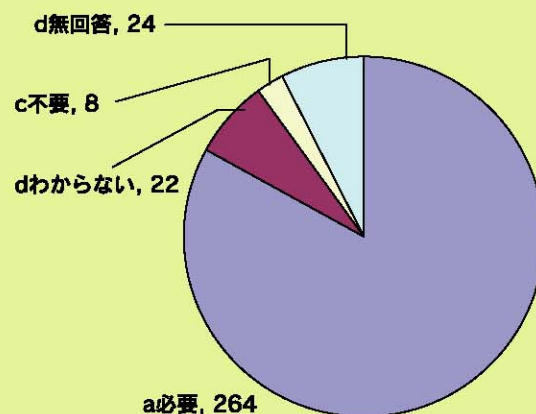
興味があった内容



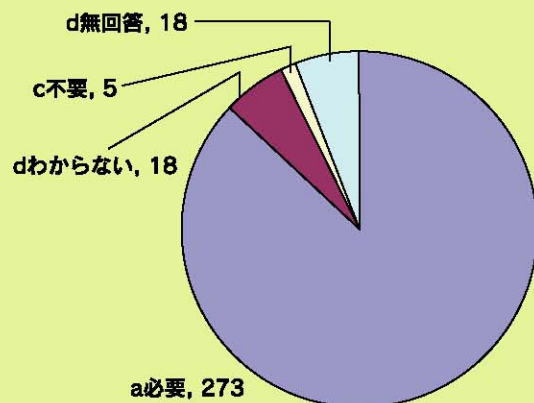
かなざわナンバーを知っていますか



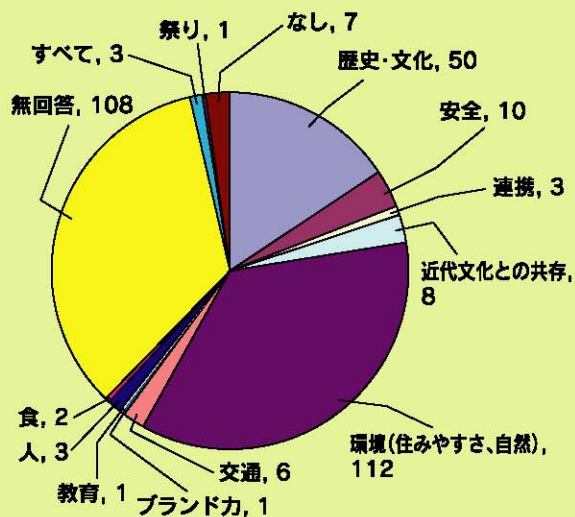
地域の自立は必要か



地域の自立のために連携が必要か？



自分の住む町の魅力は





その他の意見

今日の会議はどこで知りましたか？

dその他

- 商工会(内灘町1人)(金沢市1人)
- 青年会議所(内灘町1人)(金沢市1人)
- 環境(内灘町1人)(金沢市1人)
- どのような内容に興味ありましたか？
- a北陸新幹線
- 中央との交流ができる(かほく市)
- 便利(かほく市1人)(津幡町1人)
- 中央に人・物が流れていきそう(かほく市)
- 2014年問題(かほく市1人)(金沢市1人)
- どの内容に興味がありましたか？
- b地方分権一括法
- 2市2町の連携でよくなりそう(金沢市)
- c少子高齢化
- 止まらない少子化により、問題の拡大が深刻だから(金沢市)
- 高齢者をどう支えるのか？(津幡町)
- dいしかわみらい共創会議ビジョン
- 市民の目標に近いビジョンだった(かほく市)
- お花畑大賛成です(かほく市)
- 青年たちの情熱を感じた(かほく市)
- 知らなかった(津幡町)
- 地域連携を強固なものにしたいと、全国から取り残されてしまう(津幡町)
- 身近なところで、イベントがあれば、参加したい(津幡町)
- これから、互いに協力していくため(津幡町)
- 今後の発展を期待できた(内灘町)
- 中央との連携が活発になりそう(内灘町)
- 行政ではなく、青年経済人主体というのが目新しい(内灘町)
- 近隣地域の協力の仕方に興味がありました(内灘町)
- ビジョンの実現を想像するとすごく楽しみ(金沢市)
- 夢がある(金沢市)
- どこに住むかの参考になった(金沢市)
- 中央圏での共有ビジョンが必要(金沢市)

eわからなかった

- さわやかで良くわからなかった(かほく市)

fその他

- 金沢港へのコマツ進出に興味がありました(かほく市)
- 連携が大切(かほく市)
- 2市2町がまとまる(かほく市)
- 行政の分担と連携の必要性を再確認できた(津幡町)
- 市・町長の現在の行政に対する考え方が、わかった(津幡町)
- 大型ショッピングセンターの話(津幡町)(金沢市)
- 山出市長の意見は具体的で、感心させられた(津幡町)
- 自治体の連携の重要性(金沢市)
- 東海北陸自動車道(金沢市)
- 首長の連携に対する考え方(金沢市)
- 河北潟の利用方法が面白い(金沢市)
- あなたは地域の自立が必要だと思いますか？
- a必要
- 国には頼れない(かほく市)
- 一地域では限界がある(かほく市)
- 分担と連携(かほく市)
- 独自の特色(かほく市)
- 財源の確保(かほく市)

- 今の役所の人材ではだめですね(津幡町)
- 今後を見据えると必要(津幡町)
- 3割ではなく5割自治となって欲しい(津幡町)
- 魅力ある地域を創出するため(津幡町)
- 自立がなくて連携(津幡町)
- 広域連携は医療を含めた今後の姿(津幡町)
- 独自の事業を推進できる(津幡町)
- 住民サービスの低下が考えられる(内灘町)
- 行政に頼らないため(内灘町)
- 地域力の必要性(内灘町)
- 独自性を放つため(内灘町)
- 合併(内灘町)
- 合併ではなく、独自の町で(内灘町)
- 足元を固めるため必要がある(金沢市)
- 今後の地方分権に対応(金沢市)
- 地域の発展には欠かせない(金沢市)
- 財政基盤の自立をなくしては住民のニーズに応える事はできない(金沢市)
- 自立して特色を出さなければ、日本全国同様な自治体になってしまう(金沢市)
- 石川県のことは石川県に住む人が考えるべき(金沢市)
- 国をあてにできない(金沢市)
- bわからない
- 自立していく面と、他に助けてもらう面と両面とも必要(金沢市)
- メリットとデメリットがよくわからない(金沢市)
- c不要
- 合併すべき(金沢市)
- 意思が多いと何もできない。方針が多いと複雑になる(金沢市)

地域の自立の為に連携が必要だと思いますか？

a必要

- 単体より連携する事により、発展を期待できる(金沢市)
- 魅力を出していく(金沢市)
- 連携して効率的に進めるべき(金沢市)
- シナジー効果(金沢市)
- 一本より三本の矢(金沢市)
- 県は保身のため合併を推進しない(金沢市)
- 役割分担(金沢市)
- 力のある市に併合されるのではなく、連携してよりよい地域作りをしていくべき(津幡町)
- 人々の交流(津幡町)
- 役割分担が必要(津幡町)
- より高いサービスを目指すため(津幡町)
- 青年たちに期待しています(内灘町)
- 不安材料の解消に(内灘町)
- 情報交換が必要(内灘町)
- すべて(財政・生活など)の面で必要(内灘町)
- 町民サービスの向上(内灘町)
- 公共施設などは共同で利用が必要(内灘町)
- 魅力向上(内灘町)
- 生活・商圏が広域化しているため(内灘町)
- c不要
- すでに連携している(津幡町)

dいしかわみらい共創会議への希望や要望などありますか？

(肯定)

- 独自・独創の活動を期待します。52・男(金沢市)
- 継続してください。58・男(金沢市)
- 具体的に行動してください。56・男(金沢市)

- オンリーワンの魅力を創造してください。54・男(金沢市)
- 青年会議所の若い力と共創会議には期待しているの、今後奇跡とも言えるような催し物を企画して欲しい。1・男(金沢市)
- 花畑ビジョンを実現・成功させてください。47・男(金沢市)
- 首長会議の実現させた事は大変すばらしく今後も継続して欲しい。40・男
- 行政のイベントと連携。32・男(金沢市)
- 今後も首長会議を続けて欲しいが、首長にはもっとわかりやすい言葉で、方って欲しい。33・男(金沢市)
- 単発ではなく継続を。35・男(かほく市)
- 河北潟の現状をよく検証した上で、アイデアを具現化してください。31・男(かほく市)
- 2014年に向けて経済の流れを若い方の力でうまくキャッチしてください。47・男(かほく市)
- すごく有意義な会議でした。ただ一般の方の参加がどれくらいあったのか？せっかくの首長の意気なにも、もっと共創会議の周知してください。57・女(かほく市)
- 産・学・官の連携と積極的な取り組みをしてください。58・男(かほく市)
- 今回は対象者を絞っての会議と聞いていますが、次回は幅広く呼びかけて行って欲しい。43・男(津幡町)
- 今後も新しいビジョンを創りだしてほしい。52・男(津幡町)
- すごく良い会議だったのに、もっと広報活動をするべき。54・男(津幡町)
- 全体的に堅かった。司会を女性にしたほうがよかったのでは？59・男(津幡町)
- 会議の意見を取り上げて欲しい。50・女(津幡町)
- ポートピアというキャンブル場を作る計画がある、これは2市2町にとって、イメージの良い物とは思えない。今後はこの問題も取り上げて欲しい。56・男(津幡町)
- 今回は市・町長の意見を中心に聞く事ができたが、次回は青年部の方たちの若い発想・発言の討論を聞きたいです。50・女(津幡町)
- 各市町で年一回開催してはどうか？40・男(津幡町)
- 今回はじめて共創会議の活動内容を知る事ができた。今後はもっと広報活動してもらい周知して欲しい。43・男(津幡町)
- 若者・地域の声を集約して、金沢を中心とした合併を勧めて欲しい。43・男(津幡町)
- 道州制についての議論も進めて欲しい。38・男(津幡町)
- 商店街や小さな店の魅力を引き出すアイデアの提案などもして欲しい。60・男(津幡町)
- 今後もサミットの開催を希望します(内灘町)
- ビジョンを実現してください(内灘町)
- もっと、いしかわみらい共創会議のPRしてください(内灘町)
- 地域全体の発展のため、活動してください(内灘町)
- 道州制・合併について議論してください(内灘町)
- 各地域の連携を強める先導をしてください(内灘町)
- 内灘で建設中の連湖なぎさ公園で、花火大会をして欲しい(内灘町)
- 河北潟の花火実現させてください。羽昨・25・女
- 加賀・能登とも交流連携してください。川北町・34・男
- 継続してください。森本・43・男
- 今後も取り組みの発展や周知を進めてください。野々市・33・男

(否定)

- 白山市と野々市町が今回の会議には入っておらず、目標達成の50%といったところでは？45・男など(金沢市)



編集後記

4年目を迎えたいしかわみらい共創会議において、市長町長をお招きし、我々の思いを首長や市民の方々に伝えることが少しでもできたのではないかと思います。そしてここに報告書と言う形で改めて手に取る方々が、我々とともにこのいしかわ中央圏の魅力を考え一緒に創出していけたらと思います。

最後に、我々の未来、そして我々の子供・孫たちが明るく豊かに暮らせるよう、みなさん一緒に手をつなぎ地域づくりをしましょう。

2007年度議長

かほく市商工会青年部

津幡町商工会青年部

内灘町商工会青年部

森本商工会青年部

金沢青年会議所

岡本 幸造

塩本 亘(部長)、岡本 幸造(委員長)、長柄 裕、西 隆明、森 常直

田上 久晃(部長)、舟田 健(委員長)、岡田 吉広、戸口 秀一、勝泉 昌紀

南 裕一(部長)、東 孝充(委員長)、北川 真一、前河 政秀、山田 達也

村田 貴人(部長)、西田 真太郎(委員長)、向井 隆郎、木野 昇

八木圭一朗(理事長)、辻 匡(副理事長)、戸上浩一(室長)、菊地 勤(委員長)

出倉 智徳(副委員長)、湊 康久(副委員長)、朝倉 宏太、家出 篤史、

雄谷 秀次、魏 鴻波、木谷 孝俊、鈴木 康仁、不室 康昭、不破 大作、

舞谷 慶太、水上 弘章、三井 健司、山崎 慶功、山本 太門、吉田 康祐